

令和4年度 唐津市 12月補正予算（案）

令和4年11月24日



唐津市 財務部 財政課

<http://www.city.karatsu.lg.jp>



令和4年度予算

一般会計補正

現計予算

767億4,192万6千円

今回補正

75億5,356万5千円

補正後予算

842億9,549万1千円

令和3年度12月補正後比 ▲31億9,517万5千円 (▲3.7%)

◆コロナ禍における物価高騰対策

9億5,823万2千円

- ・子育て世帯支援給付金給付事業費
- ・水道事業会計繰出金（価格高騰対策分）
- ・簡易水道組合等支援補助金
- ・農業水利施設電気料高騰対策事業補助金

◆感染拡大防止策

854万円

- ・小中学校感染症対策等事業費

◆台風14号等からの災害復旧費

5億1,465万6千円

- ・農地・農業用施設、林業施設、土木施設、環境衛生施設、し尿処理施設、公立学校施設、社会教育施設、防災施設

◆国の事業採択に伴うもの

4億6,515万円

- ・相知黒岩地区ほ場整備事業費、農村地域防災減災事業費、農業水路等長寿命化・防災減災事業費

◆県事業負担金

7,460万1千円

- ・港湾事業、街路事業

◆その他の事業

- ・公共施設整備基金積立金、響創のまちづくり基金積立金
- ・ふるさと寄付金推進費、ふるさと寄附金積立金
- ・放課後児童健全育成事業等対策費
- ・道路維持改良費
- ・急傾斜地崩壊防止事業費（ほか）

特別会計補正

◆国民健康保険特別会計

▲352万4千円

◆介護保険特別会計

1,055万3千円

◆観光施設特別会計

26万4千円

◆有線テレビ事業特別会計

3,246万3千円

事業会計補正

◆水道事業会計

385万7千円

◆工業用水道事業会計

69万2千円

◆下水道事業会計

▲1,156万2千円

◆市民病院きたはた事業会計

513万9千円

◆モーターボート競走事業会計

38億2,346万4千円

1 2月補正予算の概要

今回の補正予算は、コロナ禍における物価高騰対策として、水道料金の減免に係る経費をはじめ、子育て世帯への給付金や、農業水利施設の電気料金に対する補助金等を計上した。

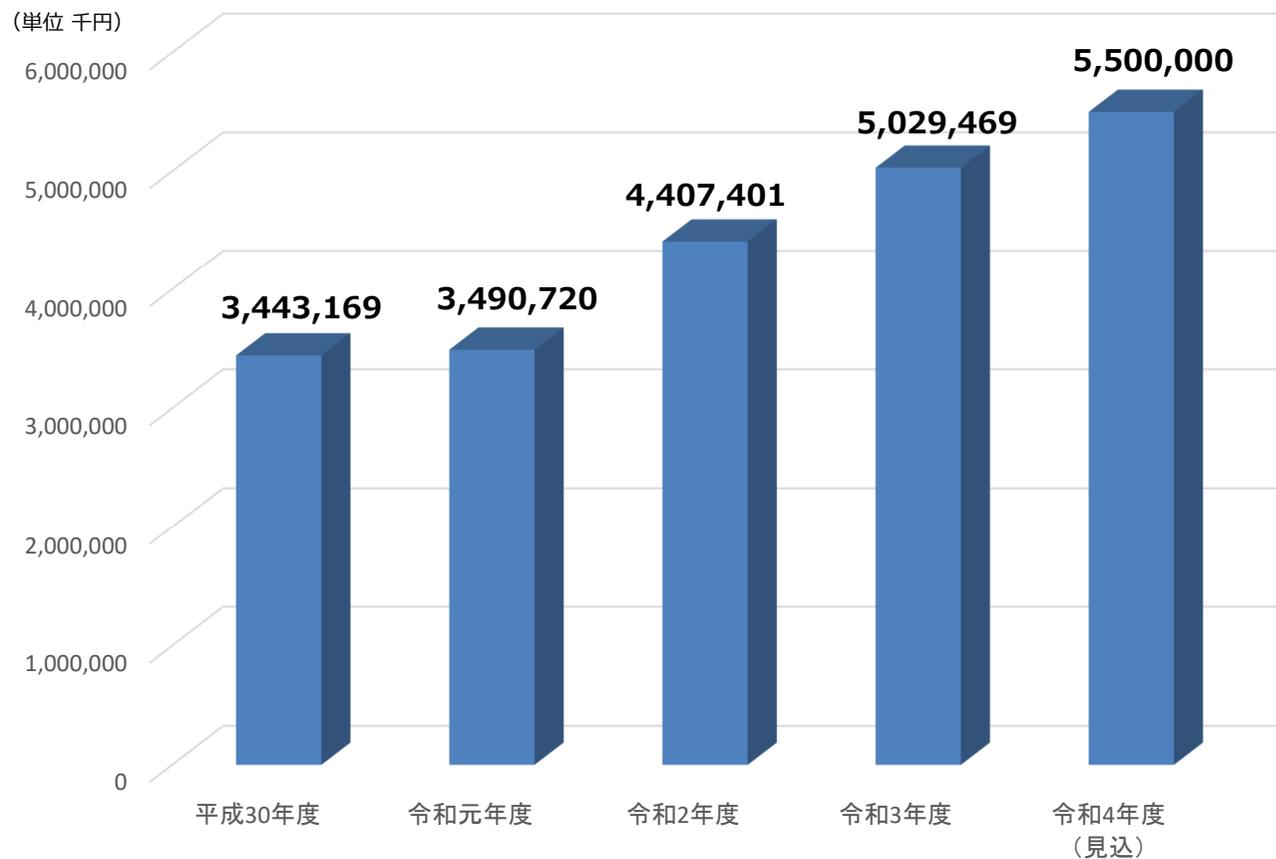
また、令和4年9月の台風等により被災した施設の早期復旧を図る災害復旧費や、民設民営の放課後児童クラブの開設に対する補助金を計上したほか、国の事業採択に伴う農業基盤の整備事業費等を追加した。

このほか、ふるさと寄附金の増加見込に伴うふるさと寄附金推進費及びふるさと寄附金基金積立金や、モーターボート競走事業の収益金による公共施設整備基金及び響創のまちづくり基金への積立金、人事異動等に伴う給与費、県営事業に対する負担金などを計上した。

ふるさと寄附金推進費 ふるさと寄附金基金積立金

当初寄附受入予定額30億円に対し、約55億円の寄附受入が見込まれる。歳入予算の増額に伴い、増額分に係る返礼品調達費、配送料、運営委託料、カード決済手数料等の推進費及び基金積立金について増額補正を行うもの

ふるさと寄附金基金寄附金推移



(単位 千円)

歳入	現計予算額	補正予算額	計
ふるさと寄附金基金寄附金	3,000,000	2,500,000	5,500,000
ふるさと寄附金基金利子	10,181	0	10,181
計	3,010,181	2,500,000	5,510,181

歳出	現計予算額	補正予算額	計
ふるさと寄附金推進費	1,620,279	1,295,731	2,916,010
ふるさと寄附金基金積立金	1,389,902	1,204,269	2,594,171
計	3,010,181	2,500,000	5,510,181

放課後児童クラブを新たに開設する民間事業者に対し、施設の環境整備費等の補助を行うもの。

➤ 補助対象者

放課後児童クラブを新たに開設する民間事業者

➤ 施設概要

定員20人（小学1年生～6年生）
熊原町に令和5年4月開設予定

➤ 対象経費

施設改修費、備品購入費等

➤ 補助率

10/10



コロナ禍において物価高騰の影響を受けている家庭や事業者の負担軽減を図るため、水道料金の減免等を行うもの。

1. 水道料金の減免

①対象者

唐津市内のすべての上水道利用者

※官公庁の施設を除く

②減免内容【プッシュ型】 163,076千円

水道料金のうち基本料金の2か月分（水道メーターの令和5年2月、3月検針分）を減免

2. 簡易水道組合等加入者への支援

①対象者

水道料金の減免を行う簡易水道組合等

②支援内容【申請型】 715千円

組合等に対し、加入世帯が負担する2か月分の水道料金の基本料金相当額を補助（上限額 3,246円）

【水道料金減免のモデルケース】

唐津市の一般世帯（一か月あたり15m³の使用の場合）

2か月分の水道料金



【減免額（基本料金）】
3,246円
▲ 約55%の減

【支払額】
2,750円

コロナ禍において物価高騰の影響を受けている子育て世帯を支援するため、唐津市独自の給付金を支給するもの。

➤ 支給額

対象児童1人あたり**5万円**

➤ 支給対象者

令和4年12月31日時点で唐津市に住所を有し、児童手当の受給資格がある者
(特例給付の対象外の者を含む)

➤ 支給方法

- ・児童手当の受給資格がある者（公務員以外）
プッシュ型（**申請不要**） 児童手当の受給口座に振込
- ・特例給付の対象外の者及び公務員
申請型（**要申請**） 申請書受付後、指定された口座に振込

➤ 事業費 **792,441千円**

給付金 786,500千円 (@50千円×15,730人)

事務費 5,941千円 (システム改修・郵便料他)



令和4年9月の台風等により被災した施設の復旧を行うもの。

農地・農業用施設	52箇所（農地37箇所、農業用施設15箇所）	138,600千円
林業施設	83箇所（林道83箇所）	30,000千円
土木施設	111箇所（河川8箇所、道路103箇所）	308,705千円
環境衛生施設	2箇所（大平山斎苑、浜玉斎場さくら苑）	6,028千円
し尿処理施設	1箇所（北部衛生処理センター）	4,070千円
公立学校施設	1箇所（東唐津小学校）	12,177千円
社会教育施設	2箇所（東唐津公民館、高島公民館）	6,276千円
防災施設	1箇所（向島ヘリポート）	8,800千円
計	253箇所	514,656千円

公共施設の使用料改定

市民の皆さんの負担の公平性を確保するため、使用料を見直します

$$\text{使用料} = \text{原価} \times \text{受益者負担割合}$$

(維持運営管理費)

【見直しの考え方】

- **負担の公平化** (受益者負担の原則)
- **算定方法の明確化** (透明性の確保)

【対象施設】

市民交流プラザ、厳木温泉佐用姫の湯、肥前文化会館、相知交流文化センター、鳴神温泉なのゆ、ひれふりランド、浜玉町世代間交流センター、肥前町福祉センター、高齢者ふれあい会館、七山鳴神の丘ふれあい館、肥前農産物加工施設、呼子交流促進施設、浜玉農山村改善センター、農漁民センター、呼子台場都市漁村交流施設、水産会館、都市公園、体育施設、公民館、都市コミュニティセンター、厳木コミュニティセンター、近代図書館

